

熊本県で採集されたキテンハタ

清水 稔

キテンハタ *Epinephelus bleekeri* は、ペルシア湾、アラビア海からベンガル湾にかけてのインド洋、およびオーストラリア北岸から東南アジア、中国沿岸、台湾にかけての西太平洋に分布する (Randall and Heemstra, 1991) ハタ科魚類である。これまでの日本国内での標本に基づく記録としては、鹿児島県の薩摩半島 (上城ほか, 2019)、同じく鹿児島県の種子島と奄美大島および沖縄県 (藤原ほか, 2015)、和歌山県 (脇本・國島, 2021) がある。また、写真と信頼性のある目視により、神奈川県、三重県、愛媛県、高知県、宮崎県からも確認されている (藤原ほか, 2015; 日比野・長野, 2020)。

2021年5月30日、熊本県天草郡苓北町の天草灘で1個体のキテンハタが釣獲された。現在のところ、本県でのキテンハタの公式な記録が見当たらないので、ここに報告する。

材料と方法

標本の計数・計測は Randall and Heemstra (1991) に従った。各部の計測については、ノギスを用いて 0.1mm 単位で計測した。標本については、10% 中性ホルマリン溶液で固定し、水洗の後、70% エタノール溶液に置換し、保存した。本報告に用いた標本は、熊本博物館の資料として登録し、保管している。

標本

KCM 05-004759, 体長 373.2mm, 全長 462.0mm, 熊本県天草郡苓北町 (32° 28' N, 129° 59' E), 2021年5月30日, 釣り, 緒方宏和。

計数・計測形質

背鰭条数 XI, 16; 尻鰭条数 III, 8; 胸鰭条数 17; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 52; 縦列鱗数 109; 鰓耙数 9+16. 体長に対する各部位の割合 (%) : 頭長 37.8; 吻長 9.2; 体高 36.3; 体幅 20.6; 眼窩径

5.8; 眼後長 24.0; 両眼間隔 7.1; 上顎長 16.7; 尾柄高 12.5; 尾柄長 21.1; 背鰭前長 36.1; 臀鰭前長 66.5; 背鰭基底長 58.3; 背鰭第 1 棘長 4.6; 背鰭第 2 棘長 9.7; 背鰭第 3 棘長 11.0; 背鰭第 4 棘長 12.3; 背鰭第 5 棘長 11.9; 背鰭第 6 棘長 11.5; 背鰭第 7 棘長 11.0; 背鰭第 8 棘長 10.3; 背鰭第 9 棘長 9.8; 背鰭第 10 棘長 9.2; 背鰭第 11 棘長 8.2; 最長背鰭軟条長 (第 10 軟条) 13.2; 臀鰭基底長 17.0; 臀鰭第 1 棘長 3.8; 臀鰭第 2 棘長 6.4; 臀鰭第 3 棘長 8.5; 最長臀鰭軟条長 (第 4 軟条) 16.3; 胸鰭長 21.3; 腹鰭長 18.2; 腹鰭棘長 10.6.

結果

背鰭が 11 棘 16 軟条、尻鰭が 3 棘 8 軟条、胸鰭が 17 軟条、縦列鱗数が 109 であること、尾鰭上部 1/3 にオレンジ~黄色の小斑が散在し、尾鰭下部 2/3 が紫がかった濃い灰色であること、同様の小斑紋が頭部、腹部下面を除く体側面、背鰭に散在すること、胸鰭が黄色がかった濃い灰色であることなどの形質が Randall and Heemstra (1991) が示した *Epinephelus bleekeri* の標徴と一致したため、本種と同定した。

謝辞

本報告を行うにあたり、神奈川県立生命の星・地球博物館特別研究員の和田英敏氏には文献の提供および有益な助言をいただいた。緒方宏和氏には本種を採集し、ご寄贈いただいた。ここに謹んで感謝の意を表する。



Fig.1. Fresh specimen of *Epinephelus bleekeri* from Reihoku, Kumamoto Prefecture, Japan (KCM-05-004759, 373.2 mmSL).

引用文献

藤原恭司・高山真由美・桜井雄・本村浩之, 2015.

日本におけるハタ科魚類 *Epinephelus bleekeri* の記録と分布状況. タクサ, 39: 40-46.

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/taxa/39/0/39_KJ00010039464/_pdf/-char/ja)

日比野友亮・長野淳, 2020. 三重県熊野灘で水揚げされた熱帯・亜熱帯性魚類. Niche Life, 7: 28-33.

(https://media.niche-life.com/series/007/Niche07_07.pdf)

Randall, J.E. and Heemstra, P. C. 1991.

Revision of Indo-Pacific groupers (Perciformes: Serranidae: Epinephelinae), with descriptions of five new species. Indo-Pacific Fishes, 20: 1-332.

上城拓也・平田堅固・本村浩之, 2019. 薩摩半島南端から得られた標本に基づく九州初記録のキテンハタ. Nature of Kagoshima, 45: 295-296.

(http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_045/045-051.pdf)

脇本総志・國島大河, 2021. 和歌山県串本町から得られた標本に基づく本州初記録のキテンハタ

Epinephelus bleekeri. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 4: 22-25.

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/ichthy/4/0/4_22/_pdf/-char/ja)